

もりた しょうじ
盛田 昭治さん
Morita Syouji

Profile

昭和3年生まれ。五戸町出身。昭和21年から青森県職員として農事試験場などに勤務。野菜栽培の技術指導を行い、田子町や天間林村（現七戸町）のニンニク栽培の普及、拡大などに尽力した。
趣味はゴルフ、書道、表具など多種多彩。特に47歳から始めたゴルフは、多くの大会で優勝を飾る腕前。84歳になった今でもゴルフ場に足を運び、大好きなゴルフにいそむ。



「老人一人暮らしで好きなことをやっていますよ」と笑顔を見せる盛田さん。その仕事は84歳とは思えない若さに溢れている。

若さの秘訣は趣味のゴルフ。11月5日に茨城県で行われた全国大会では参加141人（陳清波などプロ37人も参加）中28位という好成績を残した。

大好きなゴルフを始めたのは47歳のとき。全くの自己流だったと振り返る。早朝、通勤途中の練習場に寄って腕を磨いた。そのかいあって、50歳でシングルプレイヤー、71歳のときには初めてエイジシュート（※）を達成、今では174回を記録している。「年をとると余計に打数は打てるのでスコアは楽になるけれど、体力がより必要になるからね。達成感は大いよ」と満面の笑みを浮かべる。

記録を出し続ける秘密は自宅にある練習場。畳部屋にカーペットを敷いてパターやアプローチの練習を行う。「いろいろと試行錯誤しているとあっという間に時間がたってしまうよ」と笑顔を見せる。

「私にとってゴルフ場へ行くことは、介護施設に行くようなもの。ボールで遊んで、おいしいご飯を食べて、お風呂に入って。介護者（同伴者やキャディー）も付いてくれる。私を遊びに誘ってくれる友達に感謝、感謝です」と話し、元気にゴルフを続けてほしいという亡き妻の思いを胸に今日もクラブを握る。

自分が納得する道を探していると、
年を取ることはありませんよ



◀ 毎日のように練習を行うのでカーペットはすぐに擦り切れてしまう。

※エイジシュート…ゴルフの1ラウンド（18ホール）を、自身の年齢以下の打数でホールアウトすること

